

国語課題①

☆音読

詩を楽しもう〔6年教科書14ページから15ページ〕

【めあて】

春の情景を想像しながら音読しよう。

『音読のポイント』

読む速さ、声の大きさ・明るさ・高さ、間の取り方などに気をつけて、工夫して音読しよう。

・春の河 P14

・小景異情 P15

学習の流れ

- ① 毎日（16日～23日まで）音読をする。
- ② 21日～23日の間に、2つの詩のうちどちらか1つの好きな詩を選ぶ。また、ノート（5年生で使用したもの）にその理由を書く。

ノート例	詩を楽しもう	私が選んだ詩は、「春の河」です。	理由は、「たつぷり」という言葉で、川の周りに春がたくさんあることが伝わってくるからです。
------	--------	------------------	--

学校が始まったら

それぞれの好きな詩の発表と理由を伝え、音読の工夫を交流します。

☆季節の言葉

春のいぶき〔6年教科書38ページから39ページ〕

【めあて】

身の回りの「春」を感じる言葉を探し、俳句（17音）や短歌（31音）を作ろう。

『学習のポイント』

教科書だけでなく、いろいろなメディアからも春の言葉を見つけて、自分の語い力を高めよう。

学習の流れ

- ① 教科書を読み、春の6つ言葉を知り、意味を理解する。
- ② 二十四節季を覚える。（教科書の上段にあります）
- ③ 春の言葉をノート（5年生で使用したもの）にかじょう書きで多く見つける。（教科書だけでなく、いろいろなメディアからも探してみよう。）
- ④ 自分が探した春の言葉で、俳句や短歌を作ろう。5つは、必ず作り、ノートに書く。（教科書の下段の俳句や短歌を参考にしましょう。）

学校が始まったら

短冊に自分が考えてきた俳句や短歌を清書し、友達と交流をします。

☆5年生で習った漢字①

漢字の広場〔6年教科書44ページ〕

【めあて】

絵の中の言葉を全て使って、町の出来事を知らせる文章を書こう。

『学習のポイント』

自分なりのイメージをもって、新聞記事のように書いてみよう。国語辞典や漢字事典も活用しよう。

学習の流れ

- ① 1文に3つの習った漢字を使う。
- ② 1つ1つの漢字を正しく書く。
- ③ 5年で習った漢字にサイドラインを赤で引く。
- ④ 町や出来事や様子がよく分かるようにノート（5年生で使用したもの）に書く。
- ⑤ いつ、どこで、何（だれ）が、何を、どうしたを、意識して書く。
- ⑥ 4つ文章を作る。（1回使った漢字は、使用しない）

ノート例	
漢字の広場一	
絵の中の言葉を使って、町の出来事を知らせる文章を書こう。	一 お寺では、文化財である仏像を、どのように保護していくかについて話しています。
二 多摩川の河口付近で	は、
三	三
四	四

学校が始まったら

各班で、自分の作った文を発表します。言葉の意味を、文章中で正しく使えているか班の友達と確認します。